

新田・八幡こぼと園だより 第36号

令和5年2月1日

年が改まって早2月。もうすぐ立春とはいうもののまだまだ寒い日が続きます。子ども達は、寒さなんてへっちゃら。水たまりに氷が張れば、足を目いっぱい上げて「バリ」と気持ちよく、冷たい水のお釣りを。雪が積もれば小さな手を真っ赤にしながら雪玉づくり。見ているこちらは思わず身震い…なんかしてられません。子ども達のためにも、新型コロナやインフルに負けない体力づくりに励む日々です。

昨年春からもうすぐ1年。身も心も大きく成長した子ども達の様子をお届けします。

毎年恒例の新田八幡サッカー交流会。
11月9日(水)をみんな楽しみにしていたのに、残念ながら新型コロナウイルス感染症と風邪で体調不良が続出。交流会はクラスみんなでミニゲームに代わりました。

中止になっ
ちゃった

新田・八幡 サッカー交流会

耳をすませば、「会いたかったな」「一緒にサッカーやりたかった」の声がしてきました。それでは、「みんなのこの気持ちをどうしたら届けられるかな?」と聞けば、何と予想もしなかった答えが返ってきました。「手紙を書きたい!」。そこから子ども達の取組みが始まりました。

「はちまんこぼとえんのゆりぐみさんへ サッカーこうりゅうかいできなくてざんねんだったね みんなにあいたかったな どこかであえるといいね しんでんこぼとえんゆりぐみより」

代表が色画用紙にペンで文字を書き、みんなでハートの折り紙を作って貼って発送。

数日後、八幡こぼと園から手作りの大きな封筒が届くと、みんな大興奮。封筒を開けると、予想通り手紙が。読み進んでいくと、みんなの目はどんどん輝きを増していきます。

「おてがみありがとう とてもうれしかったよ サッカーでみんなにあいたかったな かおだけでもみたかったな はっぴょうかいがんばろうね だいすきだよ はちまんこぼとえんゆりぐみより」

折り紙のサンタとツリーが貼ってあり、なんと!! どんぐりのお土産まで入っていました。それを見て興奮は最高潮に達しました。

サッカー交流会の中止はとても残念。でも、交流会に劣らぬ温かい交流の瞬間でした。



【新田こぼと園より】



【八幡こぼと園より】

新田こぼと園 ゆり組(5歳児)担任 渋谷 優子

たんぽぽ組の12名は絵本を見るのが大好き。毎日の絵本の読み聞かせの時には保育士と一緒に声を出したり、お気に入りの絵を指差して満面の笑みです。

はじめての 生活発表会

12月3日(土)子ども達にとって初めての発表会。出し物は、大好きな絵本のひとつ「たまごのあかちゃん」。たまごから生まれる、ひよこ・ペンギン・きょうりゅうの衣装を着て登場。日々の保育の中でしっかり練習。でも、いつもとちょっと違う雰囲気気が付きます。大好きな保護者の方を目の前に、緊張しつつも泣かずに、時々笑顔を見せたり、手をあげて大きな返事。そして、みんなの心の中は、楽しくてワクワク、恥ずかしくてもじもじ、緊張してドキドキ、一人一人が様々な思いを感じて、またひとつ成長です。終了後は、保護者の方が迎えに来るとホッと安心した表情が戻りました。

発表会後は、当日とは違った衣装を着たり、楽器遊びをしたりと余韻も楽しんでいます。

これからも、子ども達の思いを大切に、たくさんの素敵な経験ができるような、保育をしていきたいと思えます。



新田こぼと園 たんぽぽ組(0歳児)
担任 金子 奈都美

パンプキンホットケーキ

すみれ組は、5月から毎日水やりをして、畑でかぼちゃを大切に育ててきました。そして、かぼちゃは大きな実を付けました。今日はこのかぼちゃを使ったホットケーキ作り。みんなの気持ちは「早くクッキングしたい!」と、はやります。栄養士はそんな気持ちを知りながらも、上手にできるように、材料や作り方をしっかり説明します。いよいよクッキングスタート! まず、4つのグループに分かれて、グループごとに茹でたかぼちゃをジップロックに入れ、手で揉んでつぶします。そこに、バターや豆乳を加えてさらにつぶします。最後は袋から出して、大きなボールに入れて、よ〜く混ぜます。「ボールが動いちゃう」「じゃあ押さえてあげろ!」とふつ〜に友達と力を合わせます。

さあ、準備完了。一人ずつ順番に出来上がった生地を取って、ホットプレートで焼きます。焼いている途中にいいにおいがきて「早く食べたい!」と待ちきれない子ども達。ついに、ふわふわに焼きあがり、ホットケーキを一口。「バターの香りがするよ」「かぼちゃが甘いね」と、美味しく食べていました。自分で育てた野菜を食べるという経験を通し、食に対する興味がより一層深まったようです。

八幡こばと園 すみれ組(4歳児)担任 佐藤可奈子



うまく焼けるかな〜

♪ わらべうた遊び ♪

子どもたちに「お友達と一緒にいると嬉しいな、楽しいな、心地いいな」という気持ちが育って欲しいという思いを込めて、月に一回、宮城わらべうたの会

高橋貞子先生に、わらべうた遊びをお願いしています。今回は11月の1, 2歳児もも組の様子をお伝えします。

初めに貞子先生に一人一人子ども達の名前を呼ばれます。張り切って「はい!」とお返事をする子、恥ずかしそうにそ〜と手を挙げる子も・・・気持ちが表れます。

「まずは体を動かしましょう!」という先生の声に、寝転がってゴロゴロ、「めえるめえる」など。だんだん緊張がほぐれ、どんどん動きが活発になります。今度は、向かい合わせに座ってにらめっこ。「あっぴっぴ」で笑い出す子ども達。「もういっかい、もういっかい」と何度も先生にリクエスト。「どんぐりころちゃん」の歌では、先生の操る可愛らしいどんぐりの人形にみんな釘付け!一緒に歌いながら手遊びも楽しみました。

普段とは違った雰囲気の中で、わらべうたに大満足の子もも組でした。



八幡こばと園 もも組(1・2歳児)担任 阿部純子



「めえるめえる」は、足を広げ、体を前に倒して両足の間から後ろを見ます。さて、何が見えるかな〜...

先生に教えてもらったわらべうたを日常の中でも楽しんでいます。

